

2024年10月12日 ESDユネスコ世界会議+10 Years フォーラム (SDGs AICHI EXPO 2024)
パネルディスカッション2「ESD:課題と展望」

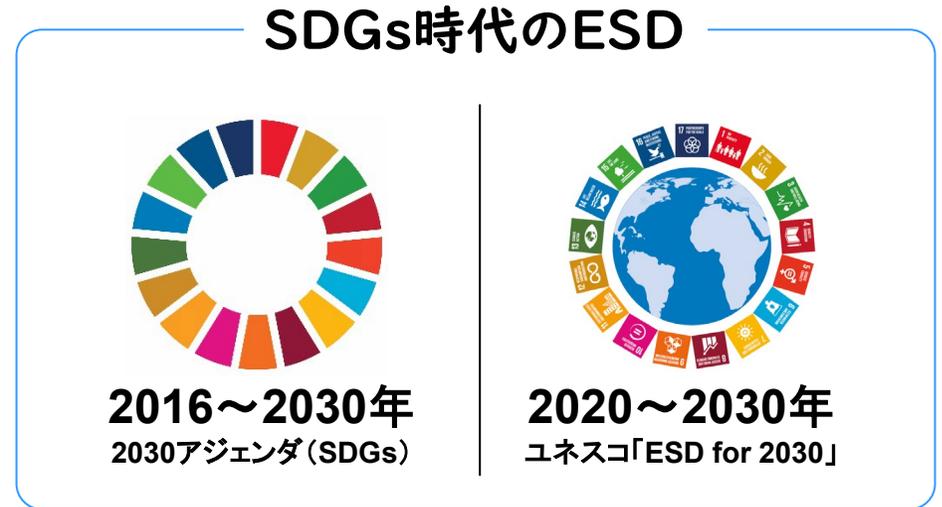
SDGs時代のESDの課題と展望

日本ESD学会副会長 岩本 渉

問題提起

1. 地域振興に貢献するESDとは？
2. SDGsの実現のためにすべきことは？ (ESD for 2030)
3. マルチステークホルダーのネットワークを強化するためには？

SDGs時代のESD



SDGsの中のESD (ゴール4 とすべての相互関連)

- ゴール4 . すべての人々への**包摂的かつ公正な質の高い教育**を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 4.7 2030年までに、**持続可能な開発のための教育**及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、**文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献**の理解の教育を通して、すべての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。



SDGsの達成に寄与する「ESD for 2030」とは？

○実現へのメカニズムとしての6つの重点実施領域：

1. 国レベルでのESD for 2030の実施 (Country Initiativeの設定)
2. パートナーシップとコラボレーション
3. 行動を促すための普及活動
4. 新たな課題や傾向の追跡 (エビデンスベースでの進捗レビュー)
5. 資源の活用
6. 進捗モニタリング

○5つの優先行動分野 (GAPからの発展的継承)

1. **政策**の推進
2. **学習環境**の変革
3. **教育者**の能力構築
4. **ユース**のエンパワーメントと動員
5. **地域レベル**での活動の促進

出典：ユネスコ、文部科学省

我が国における「ESD for 2030」の推進

ESDに関する「第2期国内実施計画」(2021年5月策定)

- 「持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議」(文部科学省・環境省の両事務次官が共同議長)が、「ESD for 2030」のような国際的な動向も踏まえて策定した。
- オールジャパンで我が国のESDを推進するとともに、世界のESDをリード(関係省庁が連携)。
- 「ESDfor2030」の理念を踏まえ、ESDがSDGs達成への貢献に資するという考え方を初めて明確化。
- ジェンダー平等、2050年カーボンニュートラル、AI・DXの推進等を踏まえつつ持続可能な社会の創り手を育成。
- ESD実現のため多様なステークホルダーを巻き込む方策や、「ESDfor2030」に示された5つの優先分野ごとに国内の各ステークホルダーが実施する取組を記載。



1. 政策の推進

- ・SDGs 関連政策へのESDの反映
- ・教育政策へのESDの位置付け
- ・地球規模課題に係る施策におけるESDの実施等について記載。



2. 学習環境の変革

- ・学習指導要領に基づくESDの実施
- ・ICT化を通じた教育環境の充実
- ・機関包括型アプローチの推進に向けたネットワークの形成・強化等について記載。



3. 教育者の能力構築

- ・教員等に対する研修等
- ・ESD推進の手引の作成・活用
- ・各機関においてESDを実践する者の育成等について記載。



4. ユースのエンパワーメントと参加の奨励

- ・ユース同士のコミュニティづくり
- ・国際的な議論にユースが参加できる環境づくり
- ・青少年の交流の推進等について記載。



5. 地域レベルでの活動の促進

- ・ESDによるローカルSDGsの推進
- ・全国的なESD支援のためのネットワーク機能の発揮等について記載。



2016～2030年
2030アジェンダ (SDGs)



2020～2030年
ユネスコ「ESD for 2030」